

令和元年度第12回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和2年3月18日（水）午後1時30分～2時45分

■場 所：府中駅北第2庁舎7階 府中市環境保全活動センター

■出 席：（敬称略）

（委 員）（8名）室 英治、塚原 仁、山田 義夫、増山 弘子、表 伸一郎、六波
羅 昭、内山 雄太、黒坂 かおり

（事務局）（2名）高橋 清和、塚原 二郎

■欠 席：（敬称略）

（委 員）（1名）小西 信生、

■議 事

2 報告（進行の都合から報告よりはじめた）

まず、コロナウイルス感染防止対策に関連していろいろな事業に影響が出ていますが、この会議もできる限り時間を短縮して行っていただきたいので、ご協力をお願いします。

(1) 第11回検討調整会議事録の確認。了承。

(2) 特別公開講座 自然散策「八王子市長池公園」はコロナウイルス感染防止策に対応して中止としました。大変よくできた公園なので、来年度実施できるようであれば実施したいと思います。

(3) 桜まつりも同様に中止となりました。

(4) 森キッズクラフト、府中かんきょう塾2020については、現在、対応を検討しています。対応が決まりしだい関係者等へお知らせいたします。

3 その他

- ・黒坂委員から社内で異動になったことから、委員を退任することとなり、次回の会議に後任の方を連れて出席する旨の話があった。これに併せ手続きを進めていくこととなった。
- ・次回開催日程を決める。

1 議題

(1) 環境保全活動センターの今後のあり方等について

⇒ 最初に、事務局で用意した資料について説明を行った。

検討資料（叩き台第4版）の変更点の確認。変更箇所は太い文字で表示している箇所を説明した。

委員から追加で提出された資料について次のように説明があった。

- ・センターは持続可能な社会に必要な仕組みである。

- ・この機能を十分発揮させるためのリソースが不足している。
 - ・個別のリソースにも様々な課題がある。
 - ・市内の環境保全学習などの施策の一元化が必要である。
 - ・市として環境保全に対する明確なリーダーシップがとれるか。
- といった点があげられた。

これらの資料について何か質問がないか確認したが、特になかった。

市長に説明する時には、この検討資料では量がありお願いした時間内で確認しきれないので、A4ペーパーにまとめたものを見ていただくように考えている。

以下、委員からの意見。

- ・昨年の3月に一度会っているが、それからセンターに対する考えがどのようなになったか、センターの見直しについて理解してもらえるようになったか、これらを考慮したうえで話した方が良いのではないか。
- ・市議会などで環境全般について取り上げられることがあるのか。環境全般について話がなく、個別的な細かい話ばかりである。センターの存在や役割について議員にも知ってもらう必要がある。
- ・第2期環境基本計画のあいさつ文で高野市長は、市民、企業、行政の3者のパートナーシップに対してセンターの役割を果たすとしている。まずは、役割を果たすべくセンターの機能が発揮できる土台をつくる必要がある。
- ・市長からの意見はセンターの機能が不足しているとするものであり、この機能を発揮するための具体的な行動等を検討してきた。
- ・委員からの追加資料2ページ目、事務局のことが抜けている。
- ・人、もの、金が付けばできると思う。場所が決まると金が決まり、人も決まる。予算的なところが具体的になる。法人化についても、どのように進めていくか決まってくる。
- ・移転候補地が令和3年3月末に閉鎖となるので、令和2年度に動きがあるかもしれない。
- ・コロナウイルスの影響で市の財政が圧迫され、移転等の予算がつかないこともあり得るが、移転する意思は発信し続けなければならない。
- ・移転についての段階は外部からも見える化する。サポーターの増員を図る。パートナーシップについては、現在、機能していな

いことから具体的にどのように対応するのか、どのような支援ができるのか具体的な内容を検討していく。例えば、すぐに協力を得られそうな東京ガスの活動と調整し府中でも協働した事業を行えるようにする。

- ・事業者側からすると、現状の府中市では、実際の職員数やサポーターの能力、施設や物資などが不足しており受け皿にならないため、実施できる状況にない。

- ・以前に環境についてのアンケートを行っているが、市民の考えがわからなかった。だから、センターもどのように機能して役割を果たすかわからずセンターがあるだけで何もやっていない。

- ・パートナーシップを進める時にセンターの立ち位置を明確にするべきで、行政サイドか市民サイドか。行政の下請け的な立場で良いのか。

- ・行政的なことは市がやる、弱いのは市民なので市民の思いを伝えること、市民が行動できるよう支援できるようにすることがセンターの役割であり、これを前面に出す。

- ・環境アンケートを採り、その結果を見える化しアピールしたい。

- ・イベントなどでアンケートを採るようにするとどのような方が来るのか、どのような関心があるのかといったニーズがわかる。費用的にも非常に安くできる。

- ・環境まつりなど以前のイベントでは啓発用のグッズがありいろいろPRすることができたが、今はブースに1・2人がいるだけでほとんど効果がない。

- ・例えば、白糸台方面の歩道で以前は木が大きくなり車イスが通れなかったが、小さい木に植え替えて通れるようにした。公園の木が様々な苦情で切られることがある。このように地域別に細かく対応されているので、センターはこのような細かいことではなく市全体的なことに対応するべきでは。地域を超えた話をセンターが全体を見通して、府中市としての大きな方向性を出し進めていくべきである。

- ・市長の考える方向性はどうゆうものか。市民アンケートから探す。地球温暖化が良いテーマであったかも。

- ・環境省が企業に賞を出している。市でも何か賞を出すなどできないか。補助金があればできる。

- ・市としての環境に対する行動の明確なテーマ・目的がないので、これらをまとめる役としてセンターしかなく、積極的に行うべき

である。

いろいろご意見が出ましたが、この第4版に直接朱を入れていただいたもの、もしくはデータのものに記入していただき、4月17日(金)までに事務局の方へ提出してください。直したものをメールで送りますので、23日(木)の会議当日に確認し最終的な形にまとめていきたいと思います。

■次回開催予定日

令和2年度第1回府中市環境保全活動センター検討調整会について

(通算 114 回)

日 時：令和2年4月23日(木) 午後2時～

場 所：府中市環境保全活動センター